

令和4年度事業計画書

特定非営利活動法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

1 事業実施の方針

今年NPO法人化10周年を迎え、より活動をステップアップできるよう、秋田県及び市町村自治体と連携しながら、その担い手の育成支援や環境整備などの諸活動を推進する。新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら、訪問者と農山漁村地域との交流の場づくりを継続し、暮らしの変化に対応した持続可能な交流のあり方について提言していく。また、本県グリーン・ツーリズム活動の中核団体として、活動内容を県内外に情報発信していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の予算額 (単位：円)
グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業	①グリーン・ツーリズム花まるっ大学の開催を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及	(A) グリーン・ツーリズムサロン～講座編～：年4回(6、8、10、12月)、全体講義1回(2～3月)、グリーン・ツーリズムサロン～開業相談編～：年4回(7月、9月、11月、1月) (B) 県内4ヶ所、遊学舎 (C) 6人	(D) 一般県民 (E) 50人	1,914,700
	②グリーン・ツーリズム体験講座(ここから秋田)の開催とサークル活動への支援	(A) 月1回(7月～翌年3月) (B) 全県域 (C) 10人	(D) 関心のある県民 (E) 50人	80,000
	③ホームページ・SNS・ECサイトによる情報発信の強化	(A) 通年 (B) インターネット上 (C) 2人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	230,000
	④新しい地域の事業承継プロジェクト	(A) 5～12月 (B) 全県域 (C) 3人	(D) 関心のある県民 (E) 20人	150,000
	⑤「里地里山50」情報発信推進事業	(A) 5月～2月 (B) 全県域 (C) 5人	(D) 関心のある県民 (E) 不特定多数	720,000
	⑥農泊地域連携拡大事業	(A) 6月～2月 (B) 全県域 (C) 3人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	640,000
	⑦農山漁村体験施設利用促進事業	(A) 6月～2月 (B) 全県域 (C) 3人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	1,800,000

アグリビジネス起業支援に関する事業	①教育旅行への受入対応	(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	80,000
	②教育旅行等新規受入地区研修会	(A)通年 (B)県内3地区 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	300,000
	③ウェルカム秋田！農泊ビジネス起業応援事業(農泊ビジネス起業実践研修)	(A)年2回 (B)全県域 (C)3人	(D)移住希望者 (E)5人	2,617,000
会員間の相互交流に関する事業	①10周年記念事業の実施	(A)1回(6月～8月) (B)全県域 (C)3人	(D)会員、関心のある県民 (E)100人	250,000
	②会員間の一と・もの交流	(A)通年 (B)全県域 (C)3人	(D)希望する会員 (E)不特定多数	60,000
助言・政策提言に関する事業	①関連事業への助言・提案	(A)通年 (B)県内 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	211,000
その他目的を達成するための事業	①あきた発酵カレッジ	(A)年7回 (B)全県域 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	2,796,000
	②あきた産デーフェアの開催	(A)年6回(6月～10月) (B)秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	493,600
	③賛助会員との協働活動の依頼	(A)通年 (B)全県域 (C)3人	(D)一般県民 (E)55人	200,000
事業費の予算額合計				12,542,300

【事業内容の説明】

<グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業>

①グリーン・ツーリズム花まるっ大学を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及

・グリーン・ツーリズムサロン～講座編～

少人数の「グリーン・ツーリズム楽しみ方講座」と「残したい農村の暮らしの技講座」の開催

開催時期：6月、8月、10月、12月の第3水曜日（予定：6/15、8/17、10/19、12/21）

開催場所：遊学舎のほか、会員施設を利用する。

新規入会者は、1回以上受講してもらう。

2～3月に1回、まとめの全体講義を行う。

・グリーン・ツーリズムサロン～開業相談編～

開業に関する相談を受ける。

開催時期：7月、9月、11月、1月の第3水曜日（予定：7/13、9/21、11/16、1/18）

・会報の発行

②グリーン・ツーリズム体験講座（ここから秋田）の開設

・「ここから秋田」の定期開催

月1回程度、会員自らの企画・主催による体験講座を継続して実施する。

新規企画を開拓する。

実施にあたり、下記のとおり手数料を設定する。

手数料：参加費の10%・・・企画への助言・チラシ作成とDM発行・参加者取りまとめ・傷害保険の適用
参加費の5%・・・チラシ作成とDM発行・傷害保険の適用

定番化した企画は、随時サークル化し、活動支援を行う。

③ホームページ・SNS・ECサイトによる情報発信の強化

- ・レンタルサーバーの設置

ホームページ「美の国秋田・桃源郷をゆく」の管理・運営
各施設紹介ページの写真の補充等、充実を図る。

- ・SNSの運用

ツイッター、フェイスブック・インスタグラムで情報発信を行う。会員が投稿した内容を積極的にリツイートし、情報の拡散を図る。

また、LINE公式アカウントを取得し、各種講座イベント開催案内を送信し、郵券代のコスト削減を図る。

会員施設の「Googleマイビジネス」を適切な表示になるよう、活用を促す。

ツイッター：@akita_gt

フェイスブック：秋田花まるっG・T推進協議会

インスタグラム：akita_gt

- ・通信販売サイトの強化

④新しい地域の事業承継プロジェクト

農家民宿・農家レストラン経営を、意欲のある若者達の手によって仕事として継承し、先輩女性農家が教授役を担うことで地域とつながり、若者と地域をつなぐハブ役として「生涯現役」も達成できる、地域にとって双方よしの「事業承継」の可能性を探る。

- ・昨年度作成した事業承継する側・される側双方の考えを整理するチェックシートを用いて、事業承継モデルを構築。

- ・「残したい農村の暮らしの技」調査の補充と技術の実演動画の撮影

⑤「里地里山50」情報発信推進事業 ※秋田県からの委託事業

本県の里地里山の優れた景観や地域資源を生かした交流活動の実施状況などを取材し、HP等で情報発信する。

- ・内容：「情報発信推進員」（3名）の選定及び連絡調整、取材内容の英訳とホームページへの掲載 他

⑥農泊地域連携拡大事業 ※秋田県からの委託事業

農泊地域のPRを行う。

⑦農山漁村体験施設利用促進事業 ※秋田県からの委託事業

ワーキングホリデー、教育旅行等のPRを行う。

<アグリビジネス起業支援に関する事業>

①教育旅行への受入対応

安全講習の実施：各地域協議会単位で開催してもらうことを基本とし、新型コロナウイルス感染状況に応じた研修会開催を呼びかける。協議会は、秋田県と連携し、受講内容の確認をし、質の向上を目指す。

②教育旅行等新規受入地区研修会

県内3地区で新規受入地区の掘り起こしのための研修会を行う。

③ウェルカム秋田！農泊ビジネス起業応援事業 ※秋田県からの委託事業

- ・農泊ビジネス起業実践研修

農泊ビジネスに興味のある本県への移住希望者にグリーン・ツーリズム体験研修及び起業プランの策定等、起業・経営に係る知識を習得してもらう。

対象者：本県で農泊ビジネスでの起業を希望する移住希望者（農家民宿、農家レストラン 計5名）

研修先：県内の農家民宿、農家レストラン等

内容：起業プランの策定ワークショップ、農泊ビジネスの起業・経営・資格・許可関連等についての基礎講義、既移住者とのネットワーク構築等

回数：2泊3日 農家民宿、農家レストラン各1回 計2回

<会員間の相互交流に関する事業>

①10周年記念事業の実施

- ・講演会の開催
- ・「10周年感謝パック」の販売

会員が販売している商品を詰め合わせて、送料別・発送日限定で販売する。買い求めやすいよう、価格帯を複数設ける。

②会員間の一と・もの交流

各自が取り扱っている商品の販路拡大や、にぎわい創出を目指して、会員間同士で出展しあったり、商品の委託販売ができるような仕組みを作る。

(例) 6月の男鹿市北浦・雲昌寺のあじさいが見頃の時に、里山のカフェににぎの一角で加工品を販売する など

※「北東北グリーン・ツーリズムネットワーク情報交換・交流会」は、青森県が開催当番県のまま2年中止されているため、今後の開催方法について事務局レベルで協議する。

<助言・提言に関する事業>

①各種会合への出席

<その他、目的を達成するための事業>

①あきた発酵カレッジ

本県の豊かな発酵食文化の知識を普及するとともに、その調理方法を学ぶことを通じて、発酵食文化を伝承し、及び情報発信する人材を育成する。

- ・開催回数：STEP1 (YouTubeによるライブ配信)、STEP2 (同内容を2回)、STEP3 (同内容を2回)、あきた発酵伝導士向けステップアップ研修 (2回) 計7回

②あきた産デーフェアの開催 (あきた産デーフェア出展者協議会との共同事業)

秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」で開催されている「あきた産デーフェア」(主催：あきた産デーフェア出展者協議会(会長：熊谷良一(株くまがい卵油研究所)・会員数15団体、共催：秋田県(担当：農林水産部農業経済課)の運営支援する。

開催日：6月11日(土)、7月16日(土)、9月17日(土)、10月1日(土)～2日(日)、10月15日(土) 計6日間

開催場所：秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」

業務内容：【県】「あきた産デーフェア」の円滑な開催、当日の見守り

【あきた産デーフェア出展者協議会】

- ・年会費(10,000円)、出展料(1回2,150円)の徴収と会計、開催に向けた事務手続き(出展の確認、道路等許可手続き、場所決め等)、総会の開催

※本協議会として、あきた産デーフェア出展者協議会に入会し、出展できる環境を整える(その場合、出展料は出展を希望する会員の負担とする。)

③賛助会員との協働活動の依頼

新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、主催事業や協力事業のイベントで、サポートスタッフとしてお手伝いいただける方を募集し、協力していただける方を登録し、必要なイベントの際に協力を呼び掛ける仕組みを構築する。